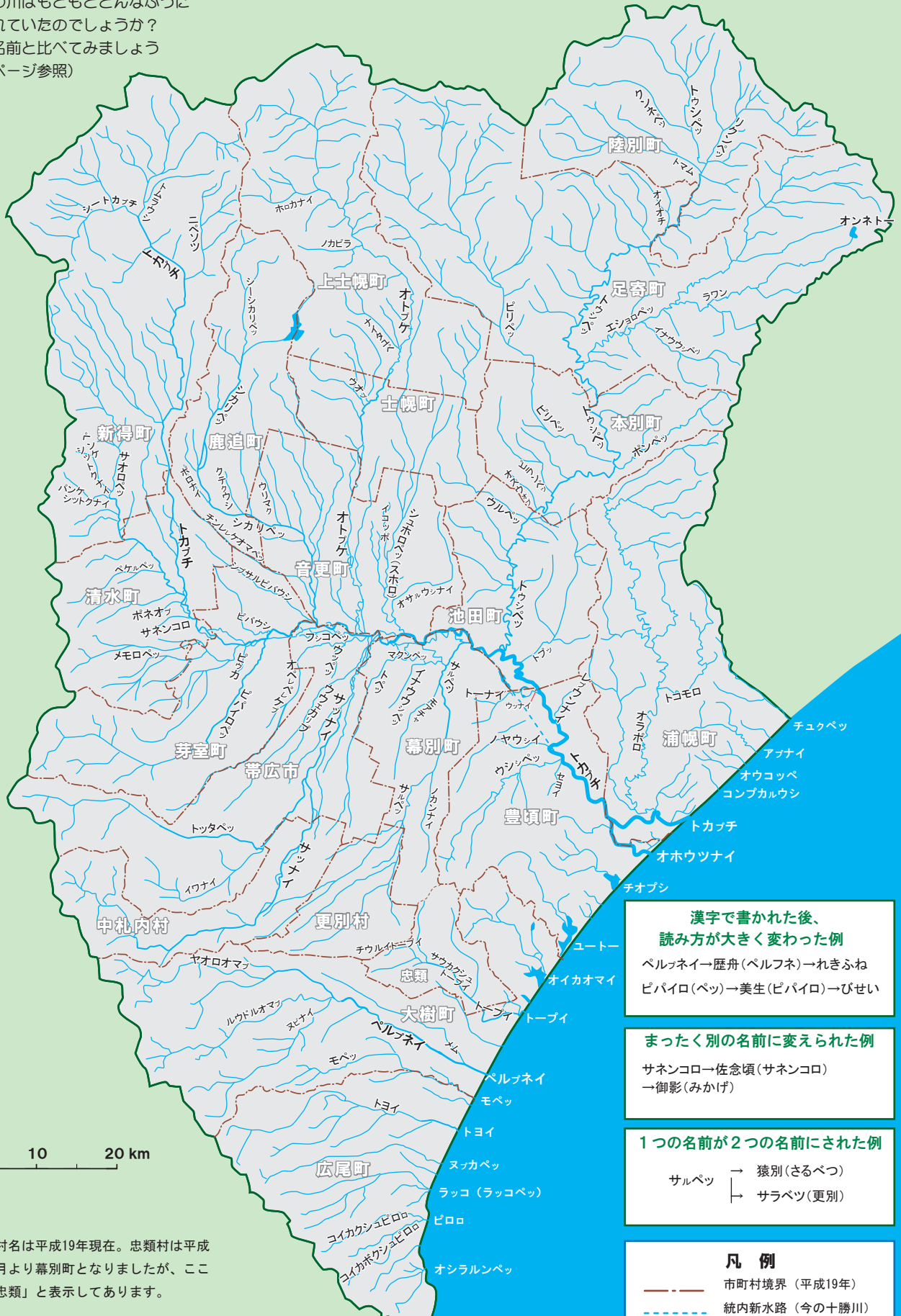


# おもな十勝の川のアイヌ語名

(→ 第3章 十勝のアイヌ文化と川 p107)

十勝の川はもともとどんなふうに呼ばれていたのでしょうか？  
 今の名前と比べてみましょう  
 (5ページ参照)



**漢字で書かれた後、読み方が大きく変わった例**  
 ペルブネイ→歴番(ベルフネ)→れきふね  
 ビパイロ(ベツ)→美生(ビバイロ)→びせい

**まったく別の名前に変えられた例**  
 サネンコロ→佐念頃(サネンコロ)  
 →御影(みかげ)

**1つの名前が2つの名前にされた例**

サルベツ	→	猿別(さるべつ)
	→	サラベツ(更別)

**凡例**

- 市町村境界 (平成19年)
- 統内新水路 (今の十勝川)

注：市町村名は平成19年現在。忠類村は平成18年2月より幕別町となりましたが、ここでは「忠類」と表示してあります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院刊行・所蔵の1/200,000地勢図、1/50,000地形図(明治29年)を使用しました。

参考：「十勝川の川舟文化史 濤標」十勝川川舟文化史『濤標』編集委員会、十勝川川舟文化史『濤標』刊行会、2004  
 「トカプチ -十勝アイヌ語地名-」帯広二建会創立50周年編集委員会、2005

# 地名について開拓者の出身地など

(→ 第4章 十勝開拓と川 p153)

十勝を開拓した人たちがどこから来たのかなどを地名からさぐってみましょう  
(ここにあげたのは一部です)

**新得町**  
福山: 福島県と山形県の間  
文字から

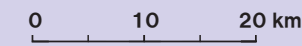
**清水町**  
讀岐: 香川県の旧国名から  
松沢: 宮城県の大松沢から

**士幌町**  
佐倉: 千葉県の前藩名から

**音更町**  
武儀: 岐阜県の武儀村から  
矢部: 富山県の地名から

**帯広市**  
稲田町: 「稲」は岐阜県の「稲葉山城」がきっかけ  
越前: 福井県の旧国名から  
加賀: 石川県の旧国名から  
幸福町: 「福」は福井県から  
別府町: 岐阜県の地名から

**幕別町**  
五位: 富山県の「五位」村から  
南勢: 三重県の旧国名「伊勢」の南部「南勢」から  
美川: 愛知県の旧国名「三河」から



注: 忠類村は平成18年2月より幕別町となりましたが、ここでは「忠類」と表示してあります。

**足寄町**  
礎: 旧満州(中国東北部)にあった旧日本軍の訓練所名から

**茨城**: 茨城県から  
**柏倉**: 山形県の柏倉門田村から

**向陽**: 旧満州(中国東北部)の開拓村の名前から  
**庄内**: 山形県の地域名から  
**鳥取**: 鳥取県から  
**長野**: 長野県から  
**宮城**: 宮城県から

**池田町**  
池田: 旧鳥取藩主の池田家から  
高島: 神奈川県の実業家、高島嘉右衛門の名から  
青山: 福井県出身の青山奥左衛門の名から

**浦幌町**  
福山: 「福」は福井県から  
養老: 岐阜県の「養老の滝」から  
吉野: 奈良県の「吉野桜」から

**広尾町**  
尾張: 愛知県の旧国名から  
香福: 香川県と福島県の頭文字から  
広富: 「広」は広尾から「富」は富山県から

**凡例**  
地名  
市町村境界

※ 地図内のふりがなは省略。主な河川名の読み方は2ページ参照

この地図の作成に当たっては、国土地理院刊行の1/200,000地形図を使用しました。